

## スマホ等の利用ルールの作成について

砂川市PTA連合会・砂川市教育委員会

### 1 はじめに

小中学生の携帯電話やスマホについては、学校に不要なものであり「学校への持ち込み原則禁止」は文科省から通知（H21. 1. 30）も出されている。このことから、スマホ等を利用するのは基本的に家庭であり、購入時の契約も保護者名義でなされた上で保護者が子どもに利用させる環境を与えていることを考えると、子どもの利用状況を把握し、管理・指導する責任は保護者にある。

一方で、昨今の利用状況を考えると、子どもの生活にスマホ等の利用は大きく関わっている現状から、学校では所持を推奨しないがその適切な利用について啓発や指導を行う必要性はあり、ネットパトロールも含め、学校において対応されてきている。

このように、家庭と学校がそれぞれ対応してきているところであるが、様々なトラブルや課題が増加傾向にあり、場合によっては深刻な状況に至る可能性も懸念される状況にある。特に、学年が上がって所持率が高くなるにつれて、利用時間が長くなる傾向や、我慢できない依存傾向、SNSによるトラブルの頻度や犯罪に巻き込まれる可能性が高まっていることを考えると、利用状況の改善及びトラブルの未然防止に向けて取組を進める必要がある。

### 2 必要なルールについて

#### (1) 利用時間について

児童生徒の中には、実態として生活に影響を及ぼすような長時間利用となっているケースがある。特に、長時間利用の傾向が高まる中学生においては、睡眠時間を削って夜の遅い時間まで利用している状況がうかがえる。この状況は、昼夜逆転から不登校の原因になることもあり、生活リズムを崩さない範囲での利用が必須である。

また、中学生では友達同士でのSNSの利用傾向が高まるが、その中でお互いに返信しなければならないという強迫観念が生まれ、特に夜遅くの利用については「統一した利用時間帯（利用しない時間帯）」を設定することにより制限する必要がある。

具体的な時間については、児童生徒の発達段階や習い事等も含めた生活の状況、家庭の都合等が大きく異なることから、統一した設定が難しい面もあるが、睡眠時間の確保を考えたとき、小学生については午後9時、中学生については午後10時以降の利用は禁止にすべきと考える。

多くの他市町や学校等で定めている同様のルールについても、小学生は午後8時から午後9時、中学生は午後9時から午後10時までがほとんどであり、一般的な認識に近く理解も得られやすいと考える。また、小学生午後8時、中学生午後9時までの方が望ましいという意見もあるが、少年団や塾等での児童生徒の活動時間を考えると現実

的に統一ルールとするのは難しい。

利用する時間の長さについては、家庭学習等の他に優先すべきことへの影響を考えるとある程度制限すべきところであるが、それぞれの児童生徒の状況（習い事や部活動等）によって利用時間の長さは異なることが予想されるので、統一するのは難しく、これについては家庭毎に決める方が妥当と考える。

## （2）SNSの利用について

### ①「出会い系」やSNSによる犯罪

近年、国内では「出会い系」やSNS上のつながりによる犯罪が発生している。

被害にあわないためにまず必要なことは、「個人情報を発信しない」「知らない人に返信をしない」「知らない人と会わない」ことである。

また、ツールになっている「出会い系サイト」の利用については、当然、フィルタリングによる強い制限が必要である。さらに、いわゆる「出会い系サイト」ではないが同様なことが可能になるSNSやアプリについても、適切な制限によってコントロールすることが必要である。

そもそも、SNSを利用しなければ危険性はほぼなくなるが、家族との連絡や友達間でのSNS利用が普及している状況を考えると、全ての利用を不可とすることは現実的ではない。また、オンラインゲーム等によっても不特定多数の利用者と連絡を取ることは可能であり、それらを含めて完全に防ぐことは極めて難しい。

つまり、フィルタリングや設定等によって制限するだけで安全とは限らず、日ごろの使い方の指導に加えて、保護者が「利用状況を点検する」ことが非常に重要である。

### ②不適切な画像や動画について

ネット上にある不適切な画像や動画を視聴することは好ましいことではなく、視聴を重ねることでモラルが薄れていくことも懸念される。

また、画像や動画を撮影することやSNSに投稿することが極めて簡単にできてしまうので、安易な考えで自分が撮影した画像や動画を投稿してしまう可能性もある。あるいは、投稿することを目的に、周囲への迷惑や危険を考えずに行動しているところを撮影し、大きな問題に発展するケースも見られる。

さらに、相手に要求されて自分の恥ずかしい画像を送ってしまう「自撮り」については被害数が増加傾向にあり、現状では身近なところでいつ起きてもおかしくない状況といえる。被害者の画像等がインターネットに流れてしまうと削除することはほぼ不可能であり、被害が一生続くなど深刻な問題となることもある。今後、加害と被害の両面で十分に指導する必要がある。

実際に撮影するにあたってのブレーキは「周囲の目」であり、スマホ等を「使う場面」を制限することによって多くの場合は防止につながると予想される。

### ③人間関係のトラブル

そもそも、小中学生のコミュニケーション能力は成長過程であり、日常的に多くの人間関係のトラブルを経験しながら、それらを通してより適切なコミュニケーションを学んでいく時期である。

まして、メールやSNS上のやり取りは文字等が中心であり、表情や雰囲気が正確に伝わらないため、受け取る側が誤解する可能性が高いのは当然である。

また、受け取る側の状況がわからない中で送信しているにもかかわらず、返信することが当然とされる風潮や、返信しないことが非難される材料にもなっている。

さらに、こういった内容や返信状況が記録として残っていくことで、後にトラブルの悪化を招くケースもある。

これらのことを踏まえ、メールやSNS上においては、日常の会話以上に、相手や誰かに嫌な思いをさせないような「ルールやマナー」を指導していく必要がある。

### (3) 利用する場面について

どんなルールがあればいいかという質問に、児童生徒の回答で最も多かったのが「場面」についてのルールであった。食事中や勉強中などの何かをしながらの利用については、マナーが悪い、集中できないといったような意識が強いことの表れだと考えられる。

また、歩きながらのスマホの危険性も指摘されており、ルールとして啓発していく必要がある。

## 3 市内統一のルールを作成する

現状、ほとんどの家庭では子どもとの間に一定の約束ごとを決めて、スマホ等を利用させているはずである。しかしながら、約束がなくて（ゆるくて）スマホ等をほぼ自由に利用したり、モラルが欠如したまま利用したりする子どもがいるのも実態であり、その結果、周りの子どもが迷惑を受けたり、影響されたり、トラブルにつながっているケースもある。また、約束にばらつきがあることで、親子間に摩擦が生まれることも容易に予想される。

今回のアンケート結果では、共通のルールを作ることについて、保護者は「ぜひ作ってほしい」と「あるといい」を合わせるとどの学年でも7割以上に達している。また、児童（小5）の70%も必要と考えている。生徒（中2）の場合は45%と下がっているが、それでも半数近くが必要と考えている。

これらの結果からも、最低ラインとなる統一ルールを作成し、それを基にしてより適切なスマホ等の利用を、家庭と学校が指導していく形を目指すべきと考える。

#### 4 具体的なルール

##### 【条例等で定められていること】

- (1) フィルタリングの設定（有害サイトや違法サイトにアクセスしない）
- (2) 違法な画像に関すること
- (3) 自転車に乗りながらのスマホ操作の禁止

##### 【市内統一ルール】

###### (1) 利用する時間

小学生 夜9時まで

中学生 夜10時まで

※夜間は保護者に管理してもらう

###### (2) SNS等

###### ①相手や他の誰かに嫌な思いをさせるようなことを書き込まない

(他人に知られて困るようなことや悪口は書かない、大事なことは直接話をする、など)

###### ②不適切な画像や動画は禁止

(求めない、撮らない、送らない、投稿しない)

###### ③個人情報を書き込まない

(名前、電話番号、メールアドレスやID等の連絡先、住所、など)

###### ④「出会い」を求める使い方をしない

(知らない人とは連絡をとらない、スマホ等で知り合った人とは絶対に会わない)

###### ⑤内容を保護者に確認してもらう

(保護者に見せられない使い方をしない)

###### (3) 利用する場面

何かをやりながらの利用はしない(食事中・勉強中・歩きながら 等)

###### (4) その他(各家庭で話し合って約束を決めておく内容)

###### ①課金について(基本は、課金しない)

###### ②利用できる時間の長さについて(他のことをやる時間も考えながら)

###### ③利用する場所について(特に小学生は大人の目がある居間が望ましい)

###### ④パスワード等の管理について(本体起動、設定変更、アプリ等、それぞれで考える)

###### ⑤アプリのダウンロードについて(基本は、保護者の了解を得る)

###### ⑥ルールを守れなかったときの約束について など

(時間や場面などの制限、お手伝い追加など、成長に合わせて事前に話し合っておく)